

第4期 製造業シニアエグゼクティブによる **イノベーションの薫陶と相互学習**

イノベーション フォーラム ジャパン

グローバル市場で生き残るために、
いかにして**日本発のイノベーション**をマネジメントするか？



開催日 (全5回) | 時 間 **各回 13:30～17:50** ※各回プログラム終了後、1時間程度の交流会を別室にて開催予定

2016年	第1回	9月27日(火)	第2回	10月26日(水)	第3回	12月8日(木)
2017年	第4回	1月27日(金)	第5回	3月23日(木)		

会 場 **LEVEL XXI (レベル21) 東京會舘** | 東京都千代田区大手町2-2-2
アーバンネット大手町ビル21F シルバー・ルーム

参 加 規 模 **25社程度**

参 加 対 象 製造業のマネジメント、または経営企画、研究・技術開発、その他各事業部門の責任者、管理職の方々

開催趣旨

2016年に入ってからの世界経済は、人民元安を伴う中国経済の減速懸念、原油安、さらに米国経済の後退懸念も呼応して黄信号が灯っているようです。また、国内に目を転じて、過去2～3年はアベノミクスによる株高と円安を背景に好業績が続いていましたが、足元では状況が大きく変わり、日本銀行がマイナス金利の導入に踏み切ったにも関わらず円高株安の流れを変えるには至っていません。経済環境の厳しさはこれまでも、またこれからも続くと思われ、くくっておくべきなのでしょう。

しかしながら、このような“高度1万メートル”におけるマクロ経済政策・グローバル経済環境だけに依存しては現場における経営の舵取りはできません。経済環境を越えて、いや如何な外部環境をも利用する気構えで我々は日々の経営を遂行していかなければなりません。

その時のキーワードは「**イノベーション**」と考えます。

マクロ的に**日本の製造業が付加価値生産性を向上させる**ためにも、ミクロ的に**開発・生産・販売・サービスの現場が一体となって高収益を伴う高成長を実現させる**ためにも、「イノベーション」こそが最重要課題なのではないでしょうか？

アーサー・D・リトル(ADL)は、1886年、米国ボストンにて創業した「イノベーション」を旗印にしたグローバル戦略コンサルティングファームです。この度、グローバルコンテキストの中で「高成長・高収益を実現するイノベーション経営」のあり方を考える機会を持つべく、イノベーション創出に携わってこられた製造業のVIPをゲストスピーカーとしてお招きし、日本企業のイノベーションマネジメントを共に考える機会を提供させていただきます。

本年は当フォーラム開催以来4年目を迎えます。これまでも増して、企業経営の第一線でご活躍されている皆様と「イノベーション」に関する有益な議論・交流を深めさせていただきたいと存じます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

会場のご案内

【LEVEL XXI (レベル21) 東京會舘】

東京都千代田区大手町2-2-2
アーバンネット大手町ビル21F シルバー・ルーム
TEL: 03-5255-1515

会場へのアクセス

- JR………東京駅丸の内北口 ～徒歩5分
- 地下鉄…大手町駅下車(A5・B2A出口) 徒歩1～5分
(丸の内線/東西線/千代田線/半蔵門線/都営三田線)



申込書

製造業シニアエグゼクティブによる **イノベーションの薫陶と相互学習**

第4期 イノベーションフォーラム ジャパン

グローバル市場で生き残るために、いかにして**日本発のイノベーション**をマネジメントするか？

▼ 下記、申込欄に記入、もしくは **欄内にお名刺をそのまま貼付の上、FAXにてご送信ください。**

お申込み方法

・申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

・複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。

・お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。

・定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書をお送りいたします。参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は平成〇年〇月〇日(〇)までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。それ以降のキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料 (全5回): お一人様/税込 …… **¥270,000**

申込日	2016年	月	日
氏名	フリガナ (※必ずご記入ください。)		
会社名	業種		
部署	役職		
住所 〒			
TEL	FAX		
E-mail	※お申込みの登録確認、開催のご案内を差し上げますので、出来る限りご記入ください。		
記入者氏名 (ご参加者と同じ場合は不要)	支払い担当者		

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからお申込みいただけます <http://www.b-forum.net/innovation216-17/>

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F **TEL:03-3518-6531** 受付時間 9:30～18:00 (土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

- * 本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び弊社が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。
- * 個人情報の第三者提供について: 当個人情報、以下の通り第三者に提供いたします。
[第三者に提供する目的] 本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などに情報提供するため。
[提供する個人情報の項目] 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目。
[提供の手段又は方法] 直接書面、または電子データにて提供いたします。
[当該情報の提供者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性] 当該情報の提供を受ける者は、本イベント主催企業、後援企業、協賛企業など。
- [個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨] 弊社と本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などとの間に個人情報の取扱いに関する契約はございません。
- * 当個人情報の取扱いを委託することがあります。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
- * 当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止(「開示等」といいます。)を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。
- * 任意項目の情報のご提供がない場合、最適なご回答ができない場合があります。
- <個人情報苦情及び相談窓口> (株) ビジネス・フォーラム事務局 取締役 個人情報保護管理者 松田/TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 土日祝日除く)



イノベーションフォーラム ジャパン

グローバル市場で生き残るために、いかにして日本発のイノベーションをマネジメントするか？

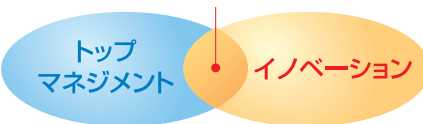
経験と論理と対話による

“ウェットな”薫陶と学習

本フォーラムへの参加によって
習得されるもの

- イノベーションの本質に対する **実感的理解**
- 自社におけるイノベーション創出に対する **示唆とヒント**
- イノベーションを自社内組織へ落とし込む際の **フレームワーク・スタンス**
- 他社、他業界における **イノベーションの実例**
- イノベーション創出に向けた **勇気と自信**

イノベーションフォーラムジャパン



本フォーラムは有数の日本企業で自らイノベーションを起こし、さらに企業経営に携わってきた「シニアエグゼクティブ」に講師として登壇していただき、また講師及びフォーラム参加者との真摯な対話を通じて、自社のイノベーションマネジメントに対する示唆とヒントを得る貴重な研修機会となります。現在、経営に携わっているマネジメントだけでなく、次世代の経営幹部の方々にとっても実践的経営を学ぶ有益な場となります。

前回の模様

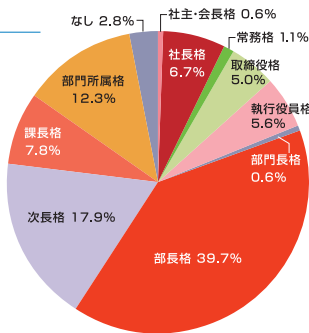


参加者の声

- 大変有意義なお話を頂戴しました。自分に照らし合わせても、このままではいけないという意識発場の良い機会となりました。(某車メーカーのお客様より)
- モノ作りの観点だけでなく、リーダーシップ論等多岐に亘った内容のセミナーで、非常に為になりました。(某玩具メーカーのお客様より)

参加者役職

主に製造業の研究技術開発部門(約50%)、経営企画部門(約25%)を中心に、右記役職層の皆様がご参加されました。



▶ 本セッションに関するお問い合わせ

ADL イノベーションフォーラムジャパン担当
パートナー 森・プリンシパル 佐野 TEL: 03-3436-2196

13:30

Session 1

(15:30
～15:45
ブレイク)

Session 2

～17:45
(17:50 終了)

第1回

2016年 9月27日 (火)

エグゼクティブ講演

イノベーションを実行する経営者の役割 ～事業環境の変化に対応する経営の舵取り

- イノベーションが必要な環境認識
- イノベーションの環境づくり
- イノベーションの実行例

旭化成株式会社
相談役 元社長
蛭田 史郎 氏

プロフィール 1964年 旭化成入社。1989年 エンジニアリング樹脂工場長。1998年 取締役エレクトロニクス事業部門長。2001年 専務取締役。2002年 取締役副社長。2003年 代表取締役社長。2010年 取締役最高顧問2013年 常任相談役。2016年 相談役(現在)。



蛭田史郎氏との対話

講演エッセンスを咀嚼して、
参加者による学びの共有と
自社への応用可能性を見出す場



経営者として経験豊富な蛭田氏へのダイレクトな質問、そして相談事など、他では体験できない貴重なセッション。

第2回

2016年 10月26日 (水)

エグゼクティブ講演

富士フィルムにみるイノベーションと新規事業開発

- 写真フィルム事業から進化したライフサイエンス事業
- イノベーションを育む組織、人、そして仕組みづくり
- イノベーションを創出するリーダーの役割

富士フィルム株式会社
取締役 専務執行役員
戸田 雄三 氏

プロフィール 1973年入社、カラーフィルム製品開発・製造技術に従事。93年より、Fuji Photo Film B.V.(オランダ)研究所長、欧米市場向け感光材料の開発及びカラーゲン研究を基に再生医療の研究をスタート。2004年化粧品・サプリメント事業、07年医薬品事業を立ち上げる。富士化学工業(株)取締役・専務執行役員、再生医療イノベーションフォーラム 代表理事・会長、内閣官房健康・医療戦略参与を兼任。



エグゼクティブ講演

講演者交渉中

第3回

2016年 12月8日 (木)

エグゼクティブ講演

ものづくり企業が目指すべき「価値づくり」とは

- ものづくり企業のトレンドと今日的課題
- 価値づくり経営を実現する「意味的価値」
- 真の顧客価値企業へ(先進企業事例検証含む)

一橋大学イノベーション研究センター
センター長・教授
延岡 健太郎 氏

プロフィール 1981年大阪大学工学部卒業。マツダ(株)入社、商品戦略担当。88年マサチューセッツ工科大学経営学修士。93年同経営学博士。94年神戸大学経済経営研究所助教授、99年同教授。2008年より一橋大学イノベーション研究センター教授。12年より同センター長。専門は経営戦略、経営組織、技術経営。主な著作:「マルチプロジェクト戦略」(有斐閣)、「MOT[技術経営]入門」(日本経済新聞社)、「製品開発の知識」(日本経済新聞社)、「価値づくり経営の論理」(日本経済新聞社)。「Thinking beyond Lean」(Free Press 英語からフランス語、韓国語、中国語へも翻訳)など。



エグゼクティブ講演

スカイアクティブの創出 ～世界一の車を目指して

- 革新への序章: “車の常識”を全て根本から見直した再出発の背景
- スカイアクティブエンジンの開発ストーリー
- リーダーの役割
～ビジョンを語り、ロマンを語ることの大切さ

マツダ株式会社
取締役 専務執行役員
研究開発・MDI統括、コスト革新担当
藤原 清志 氏

プロフィール 1982年東洋工業(株)(現マツダ株式会社)に入社。クルマのレイアウト等を担当した後、'03年にマツダモーターヨーロッパ副社長に就任。その後、商品戦略本部長を経て、'07年にパワートレイン開発本部長に就任。「SKYACTIV」のエンジン、トランスミッションの開発を統括した。2016年 専務執行役員研究開発・MDI統括、コスト革新担当。現在に至る。



第4回

2017年 1月27日 (金)

エグゼクティブ講演

イノベーション・マネジメント ～世界一流のモノづくり論

- NISSAN R35 GT-R開発の背景(求められたグローバルトップブランドと世界最高性能)
- 成功の本質: 企画から開発、生産、そして販売に至るまでの重要なエッセンス
- イノベーションを生み出す環境・文化、そしてリーダーシップ等

元・日産自動車株式会社
NISSAN GT-R 開発責任者
華創日本株式会社
代表取締役COO 兼 華創車電(台湾) 上級副社長
水野 和敏 氏

プロフィール 元日産R35GT-Rの生みの親で、グローバル・プロジェクト統括及び開発責任者として活躍後、現在は「華創日本株式会社 代表取締役COO(日本)、及び 華創車電(台湾) 上級副社長」として、LUXGENブランド車全ての開発や企画等を担当する傍ら、自動車媒体の新型車試乗と評価結果の紹介記事等を定期連載中。また「生きるカプロジェクト」の主宰者として将来の日本を担う開発者等の人材育成活動をはじめ、企業の新商品開発や人材育成、マネージメント研修講師としても幅広く活動中。



水野和敏氏との対話

講演エッセンスを咀嚼して、
参加者による学びの共有と
自社への応用可能性を見出す場



カリスマ開発者として一時代を築き上げた水野氏へのダイレクトな質問、そして相談事など、他では体験できない貴重なセッション。

第5回

2017年 3月23日 (木)

エグゼクティブ講演

講演者交渉中

エグゼクティブ講演

YKKにおける経営と技術力強化

- 技術開発方針の落とし込みと意識改革
- 技術経営の考え
- マネジメントの役割
～現場(工場)における考え・方針の浸透、等

YKK株式会社
取締役 副社長 工機技術本部長
大谷 渡 氏

プロフィール 慶應義塾大学商学部 卒業。London Business School Senior Executive Programme (SEP66)修了。1981年 YKK株式会社 入社。93年経営企画室 企画担当。2001年 常務 経営企画室長。04年 取締役 上席常務 経営企画室。06年 取締役 コンプライアンス担当 上席常務 経営企画室長。09年 取締役 副社長 技術力強化推進担当。10年 取締役 副社長 工機技術本部長(現在)。一般社団法人富山県機電工業会 会長(現在)

